

Mスターコンテナを用いた醸造用ぶどう育苗法

概要 Abstract

北海道でも醸造用ぶどうの苗木を安定生産可能にする技術です。この方法で生産した苗は、植えた後も、本州産市販苗と同じく良好に生育します。

成果 Results

Q1.どんな育苗法？

パイプハウス内で、Mスターコンテナ*とドリップ灌水装置を使った育苗法です。



1. 育苗シートを広げます。



2. 培土と苗木を乗せ「のり巻き」状にシートを巻きます。



3. トレイに一つおきに配置します。床に直接置かず、底が空気に触れるようにします。



4. ドリップ灌水装置を設置して完成です。

*Mスターコンテナ：宮崎県林業技術センターでスギ育苗に開発された方式で、林業分野で多く使われています。M-StAR (Multi-Stage Adjustable Rolled) Container、多段階調節型筒状容器の略称です。Mスターコンテナは宮崎県の登録商標です。
(「Mスターコンテナを用いたスギ育苗マニュアル(改訂版)」(宮崎県林業技術センター2024))

Q2.どんな苗？植えた後の生育は？



枝(新梢)

細いですが、定植後の発芽や生育に問題ありません。

根鉢部分

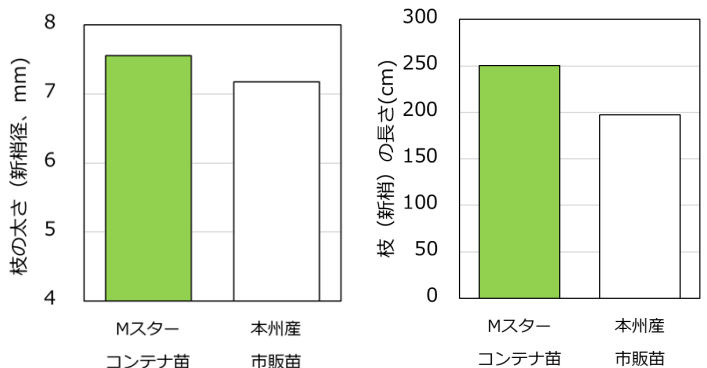
根で培土を抱えており、育苗シートを外しても培土が崩れません。



培土を取り除いた状態。
根巻きはなく、根が密。

定植1年目の秋

本州産市販苗と遜色ない良好な生育でした。



*穂品種は「ケルナー」台木品種は「5BB」。定植場所は中央農試。

*5月中旬に定植し、調査は10月下旬～11月。定植時3-4芽で切り詰めグリーンマルチ被覆、無灌水。定植1年目は芽かき後に新梢1本。

Q3. 苗木業者の評価は？

北海道の苗木業者2社でも良好な生育を示しました。また、メリットとして「土壌伝染性病害対策に有効」「単位面積あたりの育苗本数が多い」とのコメントをいただきました。

普及 Dissemination

醸造用ぶどう接ぎ木苗の育苗に活用してください。

連絡先 Contact

中央農業試験場 作物開発部 作物グループ

Tel: 0123-89-2001 mail: central-agri@hro.or.jp